

人類の太陽 金日成主席

コンゴ人民間友好協会会長

ビタル・バラ

人類歴史には多くの偉人が知られています。

しかし、朝鮮民主主義人民共和国の永遠な主席であり、社会主義朝鮮の始祖である金日成主席のように世紀と世紀を継いで多くの人民の尊敬と称揚を受けている偉人はかつていませんでした。

わたしは人類が進むべき道を示したチュチェ思想を創始することにより、自主時代を開拓し導いた金日成主席に心からの祝意を表します。

金日成主席は、革命活動の初期にチュチェ思想の真理を探究しました。

それは一言でいって、人民大衆は革命と建設の主人であり、それを推し進める力も人民大衆自身にあるということです。言い換えれば、社会的人間は自己の運命の主人であり、自己の運命を切り開くことのできる力をもっているという思想です。

チュチェ思想の創始は、帝国主義者の侵略と略奪、支配と従属の犠牲物となってきた全世界の搾取される勤労人民大衆が、自己の運命を切り開くために進むべき道を示した歴史的出来事となります。

朝鮮革命の主人は朝鮮の革命家であり、誰も朝鮮の独立を与えない、そして独立はひたすら自民族の力によってのみ、なし遂げることができるという鉄のような信念をもって、金日成主席は日本帝国主義の百万大軍と立ち向かって抗戦をくり広げて1945年8月15日、朝鮮を解放しました。

朝鮮解放以後、徹底した自主的原則から出発して、金日成主席は朝鮮の現実と朝鮮人民の利益に即した独創的な建国路線を示し、人民があらゆるものの主人となり、すべてが人民に奉仕する真の人民の国家を建設しました。

チュチェ思想の大きな威力によって金日成主席は「世界最強」を誇っていたアメリカとその追随国の侵略者を退けて、祖国解放戦争（1950－1953）を勝利へと導きました。戦争後、アメリカは、朝鮮は100年経っても廃墟から再建できないだろうと豪語しました。しかし、金日成主席の指導のもとに朝鮮は、自主、自立、自衛の社会主義強国としてそびえ立つようになりました。

朝鮮の現実を通じてその真理性と科学性、正当性と生命力が確証されたチュチェ思想は、国際社会の深い関心を引き起こしました。それゆえチュチェ思想は、世界5大陸へと急速に波及されました。

チュチェ思想によって、人類は数千年にわたる暗黒を押し分け、自主の新時代を開くことができ、世界の自主化という滔々たる流れは、歴史の舞台上で主流をなすようになりました。

金日成主席は世界政治の傑出した元老でした。

金日成主席は一生、反帝自主の旗を掲げて人民の自主化偉業を導きました。世界政治の急激な混雑の中でも、金日成主席はいささかも動揺することなく、自主の舵をしっかりと握り、帝国主義に反対する世界自主化偉業を勝利へと導きました。

金日成主席の一生は、真の国際主義者の亀鑑でした。

金日成主席は、抗日革命闘争期に朝鮮の革命家たちが中国革命を血を持って援助し、ソ連を武装でもって擁護するようにしました。1960年代のカリブ海の危機が発生したとき、金日成主席はキューバ革命を擁護するために国際的支援の先頭に立っていました。トンキン湾事件が発生したときには、反米抗戦をくり広げるベトナム人民を、もっとも積極的に支援しました。1970年代に非同盟運動を分裂、瓦解させようとする帝国主義者の策動によって、この運動が危機に瀕するようになると、金日成主席は非同盟運動の発展のために守るべき根本原則とその発展のための方途を示しました。歴史発展の各段階に金日成主席は、人民の自主化偉業が複雑な情勢の中でも、自己の軌道に沿って確信をもって前進するように導きながら、帝国主義に反対する世界の自主偉業の勝利のための戦略を打ち出したりしました。

進歩的人類の限りない敬慕を受けている金日成主席は、人類の自主化偉業に大きな寄与をしました。

わたしは、アフリカ人民の民族解放と新社会建設のための闘争に惜しみのない国際主義的援助をおこなった金日成主席の業績にたいする感謝の情を禁じえません。

1950年代の中葉、アフリカ大陸で最初に反帝反植民主義武装闘争の烽火を掲げたアルジェリア人民の民族解放闘争が大きな難関に直面したとき、金日成主席はアルジェリア人民に支持と鼓舞を送りました。

金日成主席はまた、モザンビーク人民の民族解放闘争にも支援を惜しみませんでした。これは植民地アフリカ人民の民族解放闘争にたいする国際主義的協力の今一つの証左となります。1971年9月、モザンビーク解放戦線委員長であり、解放人民軍総司令官サモラ・モイセス・マシエルが訪朝したとき、金日成主席は彼を接見しました。

金日成主席は彼に反帝闘争で氣勢をゆるめてはならないとし、勝利を勝ち取

るために進むべき方向と方途について具体的に助言しました。帰国後、マシエルは金日成主席の助言通りに解放戦線の内部を強化し、天然樹林の中に秘密遊撃根拠地を創設し、それに依拠して敵を掃滅することにより、しまいには帝国主義支配を終息させる歴史的出来事を成し遂げました。国の完全な独立を宣布するある集会の演壇でマシエルは自己の激情をこのように吐露しました。

「偉大な英雄である金日成主席がわれわれの進むべき道を明示したので、われわれはわが祖先とわれわれ自身を縛っていた鎖を断ち切ることができ、奴隷の運命から脱して解放を迎えるようになりました。

わたしはわれわれみんなの心だけでなく、わが祖先たちの念願まで合わせて金日成主席に感謝の挨拶を送ることを提議します」

確言しますが、単にアルジェリアやモザンビーク人民だけが金日成主席の指導を受けたわけではありません。

ウガンダ、ジンバブエ、ナミビアなど、多くの国々が金日成主席の私心のない援助の恩恵で感激的な出来事となる民族解放と国の独立を実現したのです。

当時、アフリカではこういう言葉が出回りました。

「金日成主席の接見を受けるのは革命のための必須のことである」

金日成主席はアフリカ諸国でおこなわれる新社会建設に、物心両面の援助と協力を私心なく寄せました。

1970年代の中葉にトーゴ大統領ニヤシンベ・エヤデマは朝鮮を訪問して金日成主席と接見し、金日成主席に朝鮮民主主義人民共和国の高貴な経験を話してくれることを要請しました。

金日成主席は、彼に自力更生で最初のトラクターをつくった話から始め、朝鮮人民がチュチェ思想に依拠して政治における自主、経済における自立、国防における自衛的な社会主義工業国家を建設した話を具体的に聞かせてくれました。

その後、金日成主席は、彼が民族幹部の不足でなめる苦衷を察し、党学校を建設することを発起しました。金日成主席はどうせやるなら、朝鮮からトーゴまで資材を運んでいくことがあっても学校を立派につくらなければならない、この高級党学校はトーゴへの贈り物であると話しました。このようになってトーゴの首都には人民連合党所属の高級党学校が立派に建設され、国の新社会建設を指導できる多くの能力ある民族幹部が養成されるようになりました。

金日成主席は、アフリカ諸国が技術者を要求すれば技術者を送り、工場と農場の建設援助を要請すれば彼らに資金と資材を送りました。金日成主席の物質的および道徳的援助には経済分野ばかりでなく、政治、軍事、教育、保健医療、スポーツのような他の分野も含まれており、その量は実に驚くべきものでした。

金日成主席がアフリカ諸国にこのように真心のこもった援助を与えたことは、決して朝鮮が裕福な国であり、すべてが豊富であったからではありません。金日成主席は、幹部たちにわれわれが少し足りない思いをすることがあっても、困難を克服してアフリカ諸国が帝国主義者から政治的・経済的な完全独立をなし遂げて自由になるよう心から援助しなければならぬとしばしば話したそうです。

1992年9月朝鮮を訪問したナミビア大統領サム・ヌジョマは、金日成主席に自己の感謝の心を込めて次のように述べました。

「金日成主席の賢明な指導と私心のない物質的および精神的援助がなかったならば、ナミビアはアフリカ大陸で唯一の植民地国として残っていたはずでしょう。われわれが惨憺たる境遇にあるとき、もっとも積極的な援助を与えた金日成主席はナミビア人民の師であり、恩人です」

わたしは、コンゴ人民間友好協会会長としてアンリ・エミル・モンジョとダニエル・クエラと一緒に平壤で金日成主席の接見を受けました。この非常に重要な席上で、われわれは金日成主席の貴重な助言に接する光栄に浴しました。

それだけでなく、コンゴ人であるクンクは、金日成主席の生家である万景台を歌にし、これは民主コンゴと朝鮮両国の若い人々の間で大きな反響を呼び起こしました。

金日成主席と生前に深い絆を結んでいた多くの外国の友人たちと人士らは、金日成主席の高い人格と高邁な徳性、そして深い人情味について感動的に回顧したりします。

わたしは一国の首班や政治家であるまえに、人間にたいする真の愛と崇高な道徳信義、そして高潔な心を体現していた、金日成主席に謹んで花束を送ります。